

名南ふれあい病院回復期リハビリテーション病棟

名南ふれあい病院 2階病棟は、回復期リハビリテーション病棟です。脳出血、脳梗塞後や大腿骨頸部骨折後などリハビリテーションが必要な患者さんが入院されています。当病棟は60床で、病院周辺にお住まいの方が多く、骨折の方の年齢層は全国割合と比較すると少し高めです。運動量の調整には注意を払い個別リハビリを実施しています。

日中はコーヒーや紅茶など喫茶スペースを設け、休息やほっとできる時間も提供しています。排泄訓練、歩行訓練など一人一人に合った入院生活の介助計画（ケアプラン）を作成しています。



Aさんは、一人暮らしに向けて、食べたものを片付けるためお盆付きの歩行器で配膳下膳をする練習をしました。Bさんは、夜間の排尿は尿瓶を使用し、朝自分で片付ける取り組みをしました。

個別リハビリと入院生活を切り離さないことが自分らしい生活をするための鍵であると考えます。「リハビリをしてもらった」で終わらないようにすべての患者様がその人らしい生活が送れるよう支援していきます。

5_{丁目}
すまいる^(^^)

名南ふれあい病院
老健かたらいの里
介護医療院
広報紙
2023年 第61号



回復期入院中病状悪化 看取り期を迎えた患者

Cさんは右足骨折後のリハビリ目的で、当院の回復期リハビリ病棟に入院されました。骨折される前は、介護保険で、通いのサービスや訪問のサービスを組み合わせて使いながら、お子様ご家族と一緒に生活を続けていました。また、ご自宅で以前と同じように過ごせることを目指して、リハビリに取り組まれていました。

しかし、入院から1ヶ月が経つ頃から、元々のご病気が悪化し、看取りの時期を迎えていく状況となりました。話し合いの中で、ご自宅での看取りを希望されたため、ケアマネジャーとも相談しながら、訪問診療と訪問看護の利用体制を整えました。退院前の打ち合わせを開催し翌日にご自宅に退院となりました。

新型コロナが流行し、面会制限が設けられている中で、ご家族も悩まれながらご自宅で最期を迎えることを選択されたことと思います。今後も本人やご家族のお気持ちに寄り添い、支援させて頂ければと思います。





かたらいの里 4階 七夕飾り作り

七夕の笹に飾る短冊作りと

笹を華やかにする為の飾り作りを手作業として行いました。飾り作りでは見本を見ながらハサミを使用し、利用者様同士コミュニケーションを取りながら笑顔で作成し、笹に取り付けられていました。短冊ではそれぞれの今思われている願いを書かれており「たまにはこういうのもいいね」「季節を感じられて楽しいね」等聞かれていました。一人一人写真撮影も行い、皆様笑顔で溢れ今回の七夕の短冊・飾り作りを実施して良かったです。



私もあなたも大切なひとです
年に一回は健診を…



特定健診 受付中!!

対象者	名古屋市在住の40歳以上で 国民健康保険証 または 後期高齢者保険証お持ちの方
自己負担	無料
受診回数	年度に1回
オプション 各500円 (70才以上無料)	肺がん検診 大腸がん検診 胃がん検診(バリウム検査のみ) 前立腺がん検診(50才以上)

ふれあいグループ
(回復期・医療院・老健)
では30台新規ベッド購入
計画があります。
安全安楽な療養環境の
ためにも協同基金の
ご協力をお願いします。

